

大阪市塾代助成事業の実施状況（平成 27 年 1 月末現在）

1 調査の概要

○平成 25 年 12 月から全区で実施をしており、利用生徒及び保護者を対象にアンケート調査を実施した。実施したアンケートの概要は次のとおりである。

利用者・保護者へのアンケート

実施時期	対象者	配付数	回答数	回収率
H26. 12	平成 26 年 5 月までに塾代助成カードを交付した利用生徒・保護者で、平成 26 年 12 月以降も継続している方	1,200 人	387 人	32.3%

2 塾代助成カードの交付・利用状況

	交付者数(人)	交付率(%)
平成 25 年度末	5,958	29.6
平成 26 年 4 月	6,405	31.8
平成 26 年 5 月	7,132	35.4
平成 26 年 6 月	7,573	37.6
平成 26 年 7 月	7,811	38.8
平成 26 年 8 月	8,026	39.9
平成 26 年 9 月	8,240	40.9
平成 26 年 10 月	8,373	41.6
平成 26 年 11 月	8,517	42.3
平成 26 年 12 月	8,461	42.0
平成 27 年 1 月	8,790	43.6
平成 27 年 2 月	8,915	44.3

※交付率は、想定対象者数(20,149 人)に対する率

(平成 25 年度：月別学年別交付者数)

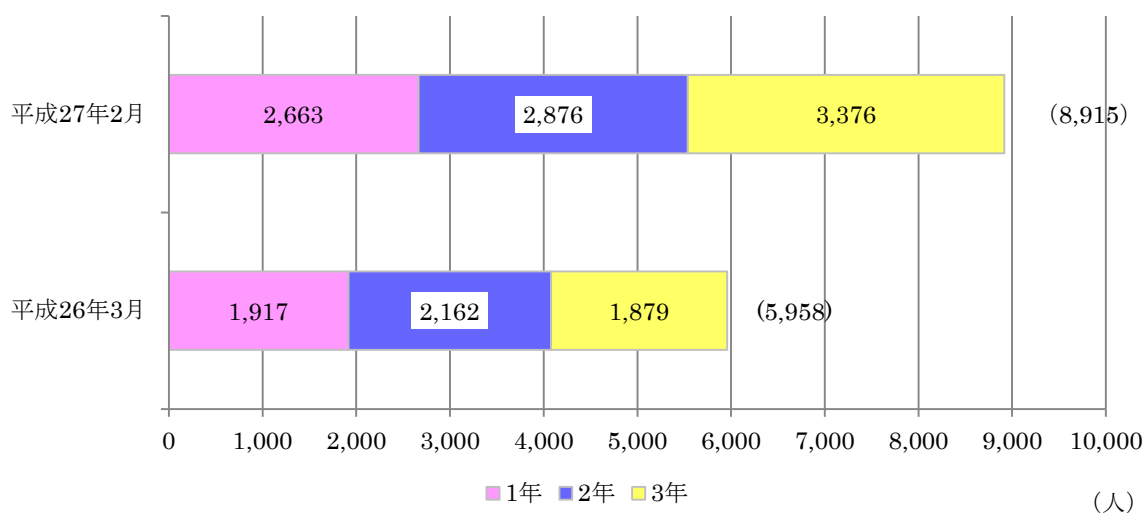
利用 開始月	人数(人)				累計 (人)	交付率	利用 人数	利用率
	1 年	2 年	3 年	合計				
12 月	1,289	1,364	1,364	4,017	4,017	19.9%	2,530	12.6%
1 月	276	309	276	861	4,878	24.2%	2,802	13.9%
2 月	211	284	173	668	5,546	27.5%	3,635	18.0%
3 月	141	205	66	412	5,958	29.6%	3,529	17.5%
合計	1,917	2,162	1,879	5,958				

- ・平成 25 年度の期間中（平成 25 年 12 月～平成 26 年 3 月末）に、1 回でもカードの利用があった生徒数 4,315 人（利用率 21.4%）

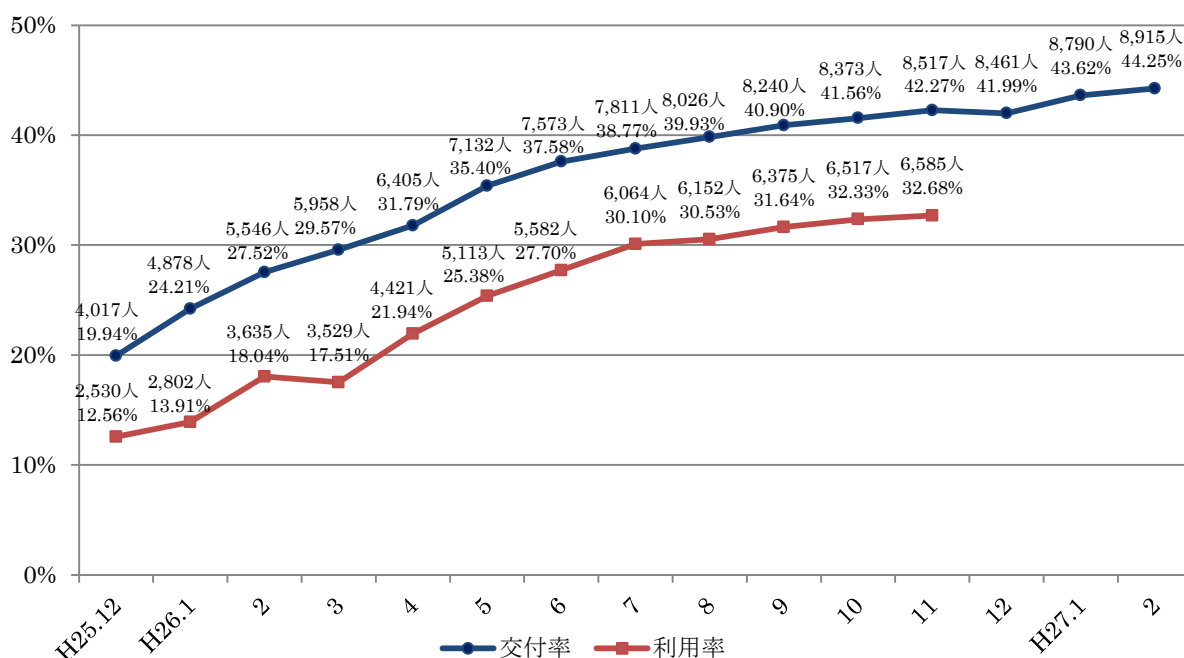
(平成26年度：月別学年別交付者数)

利用 開始月	人数 (人)				累計 (人)	交付率	利用 人数	利用率
	1年	2年	3年	合計				
4月	1,507	2,273	2,625	6,405	6,405	31.8%	4,421	22.1%
5月	294	176	257	727	7,132	35.4%	5,106	25.5%
6月	205	96	140	441	7,573	37.6%	5,582	27.7%
7月	99	55	84	238	7,811	38.8%	6,064	30.1%
8月	76	54	85	215	8,026	39.8%	6,152	30.5%
9月	66	51	97	214	8,240	40.9%	6,375	31.6%
10月	40	27	66	133	8,373	41.6%	6,517	32.3%
11月	56	50	38	144	8,517	42.3%	6,585	32.7%
12月	2,493	2,727	3,241	8,461	8,461	42.0%		
1月	114	108	107	329	8,790	43.6%		
2月	56	41	28	125	8,915	44.3%		
合計	2,663	2,876	3,376	8,915				

- ・平成26年4月から11月までの期間中に、1回でもカードの利用があった生徒数 7,082人 (利用率35.2%)



(交付・利用状況推移)



- ・塾代助成カードの交付者数は、利用開始月の平成 25 年 12 月の 4,017 人から、平成 27 年 2 月には 8,915 人と事業開始以降、交付者数は着実に増加しており、交付率は利用対象者数の 44.3%となっている。
- ・利用者数も、塾代助成カードの交付者数に比例をして順調に増加をしている。平成 26 年 3 月は前月よりも減少をしたが、これは中学 3 年生が卒業を間近にして利用を控えたことによる一時的な現象であり、4 月以降も、順調に増加傾向を示している。

3 参画事業者の登録状況

平成 25 年 12 月の事業開始当初は、704 カ所の教室が登録していたが、その後、登録する学習塾等が増え、平成 27 年 2 月 1 日現在、1,268 カ所の教室が登録している。なお、平成 26 年 7 月以降は登録数の伸びは鈍化している。

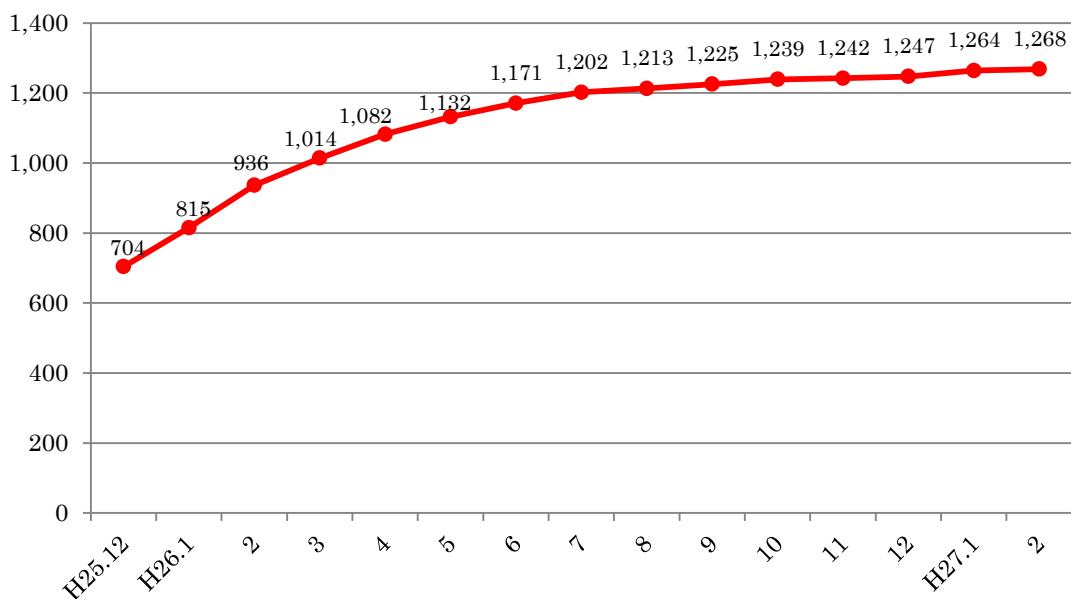
学習塾、文化・スポーツ教室の種類別の登録教室数は、次のとおりである。

学習塾	1,074	文化教室	89
スポーツ教室	63	学習塾・文化教室併設	33
学習塾・スポーツ教室併設	7	文化・スポーツ教室併設	2
学習塾・文化・スポーツ教室併設	0		

※文化教室 (パソコン、音楽、外国語、美術工芸、書道、そろばん等)

※スポーツ教室 (ダンス、空手、柔道、合気道、剣道、水泳、テニス等)

(登録状況推移)



4 塾代助成事業の効果

【利用生徒への効果】

○学校外教育の利用状況

	交付前は学習塾等 に通っていなかった	交付前から学習塾 等に通っていた	合計 〔人数(割合)〕
新規・拡充（新たに通塾できた、 受講科目を増やせた等）	120人 (32.0%)	137人 (36.5%)	257人 (68.5%)
その他	14人 (3.7%)	104人 (27.7%)	118人 (31.5%)
合計〔人数(割合)〕	134人 (35.7%)	241人 (64.3%)	375人 (100%)

- ・「新たに通塾できた」、「受講科目を増やせた」など、塾代助成カードの交付によって、新たに学校外教育を受けることができるようになったという回答が、回答者 375 人のうち 68.5% (257 人) の利用生徒からあった。
- ・平成 26 年 5 月に実施したアンケートでも、新たに学校外教育を受けることができるようになったという回答が、52.0% (170 人) の利用生徒からあり、今回も含めた 2 回のアンケート調査で、新たに学校外教育を受けることができたという利用生徒は過半数を超えており、「学力や学習意欲の向上、個性や才能を伸ばす機会の提供」という、事業目的に合致している回答が多くあった。

[参考]

		交付前は学習塾等 に通っていなかった	交付前から学習塾等 に通っていた	合計 〔人数 (割合)〕
新規・拡充	卒業時	33人 (9.4%)	109人 (31.2%)	142人 (40.6%)
	H26.5	55人 (16.8%)	115人 (35.2%)	170人 (52.0%)
その他	卒業時	12人 (3.4%)	196人 (56.0%)	200人 (59.4%)
	H26.5	17人 (5.2%)	140人 (42.8%)	157人 (48.0%)
合計 〔人数 (割合)〕	卒業時	45人 (12.9%)	305人 (87.1%)	350人 (100%)
	H26.5	72人 (22.0%)	255人 (78.0%)	327人 (100%)

○成績の変化、学習に対する気持ちの変化

成績の変化

	H26.12 実施	(参考)	
		卒業時アンケート	5月アンケート
良くなった	232人 (59.9%)	186人 (57.9%)	160人 (48.2%)
あまり変わらない	116人 (30.0%)	125人 (38.9%)	133人 (40.1%)
悪くなった	4人 (1.0%)	1人 (0.3%)	1人 (0.3%)

(成績の変化を実感した理由)

	良くなった	悪くなった
学校の定期テスト等の点数向上 (低下)	175	2
学校や学習塾での理解向上 (低下)	86	1
学校の定期テスト等の順位向上 (低下)	52	1
学校の通信簿の内容が向上 (低下)	44	3
学習塾の成績が向上 (低下)	45	0
模試等の結果が向上 (低下)	31	0

学習に対する気持ちの変化

	H26.12 実施	(参考)	
		卒業時アンケート	5月アンケート
前向きになった	197人 (55.5%)	120人 (37.4%)	128人 (42.4%)
あまり変わらない	154人 (43.4%)	191人 (59.5%)	173人 (57.3%)
後ろ向きになった	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.3%)

- ・カードを使う前と使った後で成績はどのように変わったか尋ねたところ、59.9% (232人) の利用生徒が「良くなった」と回答している。

- ・卒業時のアンケート、5月アンケート調査結果と比べると、「良くなった」と回答する利用生徒が増えている。
- ・また、「成績が良くなった」と実感した理由では、「学校の定期テスト等の点数が良くなった・順位が良くなった」、「学校や学習塾での授業がわかるようになった」、「学校の通信簿の内容が良くなった」と回答する利用生徒が多かった。
- ・さらに、学習に対する気持ちの変化を尋ねたところ、「前向きになった」と回答する利用生徒が55.5%（197人）と5割を超えており、卒業時のアンケート、5月のアンケート調査結果と比べると、学習に対して前向きに取り組む気持ちが高くなっていることがうかがえる。

○カードを使って学習塾等に通ったことによる変化

カードを使って学習塾等に通ったことによりどのように変わったか(複数回答)	H26.12実施	卒業時アンケート	5月アンケート
①学習する機会が増えた	163人(45.9%)	143人(44.5%)	113人(37.4%)
②自分の不得意な学習がわかりやすくなった	113人(31.8%)	112人(34.9%)	101人(33.4%)
③学校の授業がわかりやすくなった	87人(24.5%)	39人(12.1%)	81人(26.8%)
④自分の得意な学習や習い事により自信がついた	68人(19.2%)	47人(14.6%)	50人(16.6%)
⑤特に変わらない	67人(18.9%)	88人(27.4%)	69人(22.8%)
⑥もっと学びたいという気持ちが強くなった	45人(12.7%)	47人(14.6%)	54人(17.9%)
⑦将来の目標や夢に役立つ学習や習い事を増やすことができた	24人(6.8%)	22人(6.9%)	12人(4.0%)

- ・利用生徒のうち45.9%（163人）が「学習する機会が増えた」、31.8%（113人）が「自分の不得意な学習がわかりやすくなった」、24.5%（87人）が「学校の授業がわかりやすくなった」という回答が多くあった。
- ・卒業時のアンケート、5月のアンケート調査結果でも同様の傾向であったが、今回の調査結果では「特に変わらない」と回答した利用生徒は、卒業時及び5月のアンケートより少なくなっており、学習に対する前向きな姿勢の変化が伺える。
- ・また、自由記述では「カードを使って良かったこと、悪かったこと」について意見を聞いたところ、良い点として「成績が上がった、授業等が理解できるようになった」、「塾に通えるようになった」、「親の負担が減った」、「学習する機会が増えた」、「勉強時間が増えた」という意見があった。
- ・一方、悪かった点としては「他の生徒にカードを見られるのがいやだ」、「毎月のカードの掲示が面倒(手続きが面倒)」という意見があった。

【保護者への効果】

○塾代助成事業による影響

「塾代助成事業」によりどのような影響があったか（複数回答）	H26.12 実施 人数（割合）
①経済的負担が少なくなった	299 人(82.1%)
②塾代が軽減された分、こどもの教育に役立つものへの支出を増やすことができた	96 人(26.4%)
③家庭での学習時間が増えた	51 人(14.0%)
④こどもの生活態度により影響がみられるようになった	41 人(11.3%)

- ・塾代助成事業による保護者への影響は、「経済的負担が少なくなった」という回答が最も多く、82.1% (299 人) となっており、次いで「塾代が軽減された分、こどもの教育に役立つものへの支出を増やすことができた」という回答が 26.4% (96 人) あり、保護者に対して経済的な好影響を与えている。

○こどもの学力・学習意欲の変化

こどもの学力の変化

	H26.12 実施	(参考)	
		卒業時アンケート	5月アンケート
向上した	239 人(65.7%)	202 人(61.2%)	190 人(63.9%)
あまり変わらなかった	101 人(27.7%)	104 人(31.5%)	91 人(29.8%)
低下した	3 人(0.8%)	1 人(0.3%)	5 人(1.7%)

(こどもの学力の変化を実感した理由)

	良くなった	悪くなった
学校の定期テスト等の点数向上（低下）	191	2
学校の通信簿の内容向上（低下）	59	0
学校の定期テスト等の順位向上（低下）	50	0
学習塾の成績が向上（低下）	44	1
模試等の結果が向上（低下）	37	0
その他	13	1

こどもの学習意欲の変化

	H26.12 実施	(参考)	
		卒業時アンケート	5月アンケート
向上した	234 人(64.3%)	182 人(55.2%)	198 人(64.9%)
あまり変わらなかった	114 人(31.3%)	126 人(38.2%)	97 人(31.8%)
低下した	0 人(0.0%)	1 人(0.3%)	2 人(0.6%)

- ・こどもの学力について保護者にも尋ねたところ、「向上した」と回答した保護者は、239人と回答者の65.7%を占めている。また、こどもの学習意欲についても、「向上した」という回答が234人と回答者の64.3%を占めており、この結果は利用生徒の回答とほぼ同じである。
- ・さらに、「学力が向上した」と実感した理由についても尋ねたところ、「学校の定期テスト等の点数が良くなった・順位が良くなった」、「学校の通信簿の内容が良くなった」、「学習塾の成績が良くなった」と回答する保護者が多く、その割合、人数は利用生徒の回答とほぼ同じである。
- ・なお自由記載の中には「問題集を途中で放棄するのではなく最後までやり遂げるようになった」、「意欲的に取り組むようになった」、「苦手でわからなかったところが分かるようになってきた」という理由もみられた。
- ・これまでに実施したアンケート調査結果、また今回の利用生徒へのアンケート調査結果でも、「学力が向上した」、「学習意欲が向上した」という回答は、回答者総数の半数を超えており、この事業が学力や学習意欲の向上に好影響を与えていることが確認できた。

5 塾代助成事業についての改善点

○塾代助成カードを利用しなかった理由

「塾代助成カード」を利用しなかった理由（複数回答）	H26.12 実施
①参画事業者リストの中に行きたい学習塾等がない、現在利用しているサービスが事業の対象外	9人(39.1%)
②助成金額だけでは学習塾等に通えないため	6人(26.1%)
③現在利用しているサービスが通信教育なので	5人(21.7%)
④学習塾等に通わせたいが、どこに通えばよいか分からないので	4人(17.4%)
⑥こどもが学習塾等に通いたいと言っていないので	3人(13.0%)

- ・「カードを利用していない」と回答した保護者（23人）に対して、カードを利用しなかった理由を尋ねたところ、回答数に差はないが「参画事業者リストの中に行きたい学習塾等がない、現在利用しているサービスが事業の対象外」といった回答が9人（39.1%）の保護者からあった。
- ・平成26年5月に実施した継続利用者の保護者へのアンケートでも、9人（33.3%）が「現在利用しているサービスが本事業の対象外など参画事業者ではないので」と回答しており、現在、通塾している学習塾等が参画事業者として登録していないため、塾代助成カードが利用できず、助成が受けられないという実態が見受けられる。
- ・「現在利用しているサービスが本事業の対象外など参画事業者ではないので」という理由は、これまでの2回のアンケート調査結果よりも減少してはいるが、依然としてカードを利用しなかった理由の多くを占めている。